

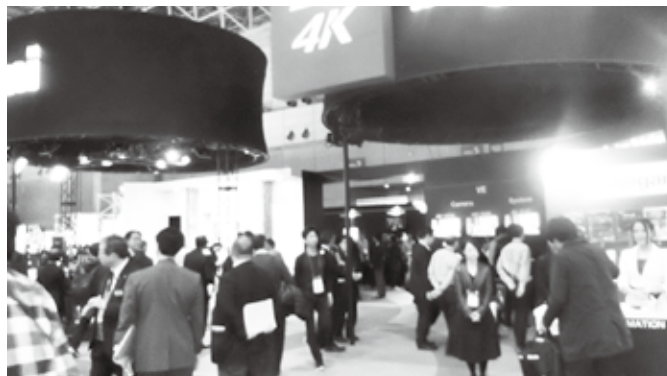
池上通信機

4K/HD Simulcast Live System Solution : 4K/HD, HDR/SDR, BT.2020/BT.709 など多様化するニーズに応えた生放送のサイマル制作を高品質で実現するシステムソリューションを提案。

■カメラ: 4K/HD スタジオカメラシステム「UHK-435」NEW / 2/3 型 4KCMOS 3 板式カメラシステム「UHK-430」/ カメラコントロールユニット「CCU-430」8 K スーパーハイビジョンカメラシステム「SHK-810」/ 超高感度マルチパース3MOS HD カメラシステム「HDL-F3000」/ 2/3 型3CMOS HD カメラシステム「HDK-73」

■スイッチャ: 4K 12G-SDI 対応マルチプラットフォーム・スイッチャシステム「MuPS-5000」NEW / マルチプラットフォーム・スイッチャシステム「MuPS-4000」/ コンパクトスイッチャ「CSS-400」

■モニター: HDR 対応 31 型 4K UHD LCD マスターモニター「HQLM-3125X」NEW / 17 型 4K UHD LCD カラーモニター「HQLM-1720WR」/ 4K/HD マルチフォーマット液晶モニター「HQLM-3120W」/ HD マルチフォーマット液晶モニター 60series「HLM-1760WR」(17 型), 「HLM-1560WR」(15 型), 「HLM-960WR」(9



型) NEW / 25 / 17 型フルHD 有機EL (OLED) マスターモニター「HEM-2570W」(25 型) / 「HEM-1770WR」(17 型)

■伝送装置: 超小型 FPU「PP-90」/ FPU 集中制御システム / 映像パケット化光多重伝送装置「iHTR」series

■FileBase System: トータル・ファイルベース・ソリューション「iSTEP+」/ Ikegami OTC System / Avid 4K HDR 編集ソリューション

ATV

■4CH HD LIVE AV MIXER『A-PRO-4』: 直感的に操作を理解できるイーゾーオペレーション設計、2K/60P までを 10Bit/4:4:4 処理、マルチフォーマット対応、外部同期対応。最新Ver.UP による、DSK 機能、PinP、9 画面マルチビュー、静止画キャプチャー機能も紹介。

■8CH MULTI-FORMAT VIDEO SWITCHER『MS-8』: テレビ会議やプレゼンテーションにも最適。内蔵スケラーにより、すべてのビジュアルをスマートにコントロール。最新Ver.UP による、ディゾルブ / ワイプ切替、マルチビューやPinP 機能も紹介。

■VIDEO CONVERTER『AV-5S/AV-3 SERIES』: SDI と HDMI を繋ぐハイスpekコンバーター。フレームバッファ機能、様々なソースに自動対応、外部シンクロ対応、音声入出力等、充実の機能。

■Electrorganic Percussion『aFrame』(併設展示): プレーヤー本来のフィーリングを損なうことなく、アコースティック感覚で演奏で



きる全く新しい電子楽器。

■『aDrums artist』(併設展示): aDrums は、「Authentic」「Acoustic」「Artware」をコンセプトにしたエレクトロニック ドラム。センシング、サイズ、フィールが一体となってプレーヤーの心地良い演奏を引き出し、楽器の本質にフォーカスして最良のアコースティック ドラムサウンドを表現。

アスク / ディストーム

NewTek 社は、ライブ・ビデオオーバーIP ワークフローをテーマに、NewTek NDI (ネットワーク・デバイス・インターフェイス) テクノロジーをベースとした映像、音声、制御系コマンドの双方向伝送を可能とするワークフローを実機にて紹介。NewTek 社が提唱するNDI テクノロジーは、昨年3月の発表以来、世界中のスタジオ、映像系開発会社より注目を浴びており、既にNDI SDK (開発ツールキット) は 3000 件を超えるダウンロード、そして100 種類以上のサードパーティ製品への実装実績を持つ。また、NDI を実装した IP シリーズを始め、TriCaster シリーズは、米国や英国を中心に eSports などの多くのカメラ入力が必要とされる現場や、テレビ、インターネット放送局などさまざまなスタジオで導入が始まっている。

・TriCaster シリーズの最上位機種「TriCaster TC1」<新製品>: 4K UHD 対応/16 入力ライブプロダクションシステム

・リモートコントロールツール「NewTek LivePanel」<新製品>: TriCaster TC1 およびIP シリーズ用 ブラウザベースのリモートコントロールツール

・NDI 対応 PTZ カメラ「NewTek PTZ カメラ」<新製品>: イーサネットケーブル一本で、映像、音声、制御、タリ、電源をサポート

・SDI to NDI コンバータ「NewTek Connect Spark (HDMI 版/SDI 版)」<新製品>: WiFi 機能サポート、また、イーサネットケーブル一本で、映像、



音声、制御、タリ、電源をサポート

・BirdDog 社 製 NDI 対応 SDI/HDMI to NDI コンバータ「BirdDog Studio」<新製品>: イーサネットケーブル一本で、映像、音声、制御、タリ、電源をサポート (近日中に双方向サポート)

・NewTek-Vizrt IP グラフィックスサーバー「NVG1」<参考出品>: NewTek 社 製 Viz Trio 社 製 Viz Trio ソフトウェア搭載グラフィックスサーバー

・そのほか、IP シリーズ Video Mix Engine、I/O Module、44 入力コントロールサーフェイス 4K UHD 対応/44 入力ライブプロダクションシステム、3Play 440/4800 4 または 8 チャンネル リプレイ・スローモーションシステム、TalkShow VS100/4000 などを出品紹介

ソニー

「Beyond Definition ともに創る。ともに進む。」をテーマに出展。一連の映像機器からディスプレイまで、4K/8K ライブ制作、カメララインアップ、ファイルベースワークフロー、ディスプレイラインアップを展示。

4K やHDR の制作システム、8K 3 板式カメラシステム、IP ライブ伝送など、次世代放送を見据えた価値ある映像を効率的に制作するソリューションを幅広く提案。ブースには、国内展示会としては最大サイズとなる6.8m×2.7m のCrystal LED ディスプレイシステム（5K×2K 構成）を設置し、これまでにない高画質と没入感による新たな領域の映像体験を提案した。

また、新開発されたCineAlta カメラ「VENICE」に関するインプレッションを業界関係者が語るセミナーを実施。

カメララインアップとしては、新たに開発した36×24mm フルフレーム CMOS イメージセンサーを搭載したCineAlta カメラフラッグシップモデル「VENICE」は、映画やCM の撮影に最適なアナモフィックレンズを使用している。

また、4K / 8K ライブ制作として、新開発1.25 型 8K イメージセンサーを搭載した8K 3 板式カメラシステム「UHC-8300」を出品。



IP ライブ伝送技術を使った「IP Live プロダクションシステム」など取材素材をモバイル通信で伝送するワイヤレス取材システムから送出アーカイブまでの報道「Media Backbone 報道ソリューション」の展示も行った。

共信コミュニケーションズ

同社で開発している人工知能機能を搭載したAI によるオリジナルコンテンツ管理システム「DaAlps」のほか、8K/4K/HDR/VR/リアルタイム・フィニッシング「SGO Mistika」、超高速共有スケールアウト・ストレージ「Quantum Xcellis」、「Contents Management」「220 インチ4KLED ディスプレイ」、「Aundio&Video Broadcast Editing」、「Archive」の6分野における最新のソリューションを紹介。

また、サードパーティの360 度音声編集「iZotope RX6」、「Video Slave Pro」などをプレゼンテーションを行ったほか、各社から提供された 8K コンテンツのプレイアウトを行ったり、簡単なステップでのファイルベースアーカイブの紹介やレンタルプランを紹介した。

●8K/4K/HDR/VRリアルタイム・フィニッシング「SGO Mistika」・SHARP70 型8K モニター「LV-70002」:Mistika はオンライン編集、VFX、カラーグレーディング、S3D、VR、デリバリーをひとつのシステムにおさめたトータルポストプロダクションシステム。HD、2K、4K、8K 編集作業をリアルタイムに行い、スピードや正確性を

発揮しながら、完璧な仕上がりを提供する。

●超高速共有スケールアウト・ストレージ「Quantum Xcellis」:業界最速のファイルシステムStorNext を搭載した共有ストレージ Quantum Xcellis を展示。当製品は高い拡張性と高速性に加え、標準で機器の完全冗長性を兼ね備えており、安心した編集環境を提供。HD をはじめ4K/8K の共有作業環境を実現させる至高のソリューションである。

●Contents Management 業界初AIによるオリジナルコンテンツ管理システム「DaAlps」:使い勝手を重視した弊社完全オリジナルのコンテンツ管理システム「DaAlps」。インジェストからアーカイブ・送出にも対応し、素材管理ではコメント入力メタ情報に加えて、映像素材内の文字スーパーを「AI 解析」し、自動でメタ抽出する業界初の機能を搭載している。メタ入力の煩わしさからコンテンツ入力に取組めていないユーザーに役立つシステムとなっており、素材アーカイブは最新のODA に対応している。送出機能はローコストで構築でき、ケーブルテレビ局やサイネージの送出用途として運用可能。



▲注目を浴びた日本初出展の米シリコンコア社製 LED 220 インチ「SiliconCore Lavender P1.2mm Ultra Fine Pitch LED Panel」(4864mm×2736mm)、4K のLED ディスプレイは1.2 ミリピッチで、10 ビット対応、1200nits を実現している製品である。

●Archive (インジェスト・アーカイブシステム):大切なテープ資産を簡単なステップでファイルベースアーカイブへ移行できる。データは大容量、高速化を実現した「SONY 光ディスクアーカイブ (Optical Disk Archive)」へ保存。HD・4K と肥大化するデータの長期保存や2 次利用に最も効率的なソリューションを提案した。

アイティアアクセス

AWS ブースにて共同出展。End-to-End ファイルQC & コンテンツ監視ソリューション次世代ファイルベースの自動QC プラットフォーム「BATON」の最新版 v.7.2 の先行デモやクラウドQC サービスコンセプトデモの初公開。

Live & VOD のQoS & QoE 監視ソリューション「ORION 製品スイート」にて以下を紹介。

■ORION:リニア放送向けリアルタイムコンテンツ監視(IP及びTSの総合的な監視/ TR101290/オーディオ&ビデオ品質/広告挿入チェック/クロードキャプション &

CALMコンプライアンス)

■ORION-OTT:OTTストリーミングコンテンツ監視(ABRパッケージ整合性/オーディオ&ビデオ品質/サーバ及びネットワークパフォーマンス/HTTPレスポンス)未リリースのOrigin Performance Monitor (OPM)のコンセプトデモ

■ORION Central Manager (OCM): ORION & ORION-OTT の複数監視拠点の一元管理。4K HDR コンテンツ保護用のForensic ウォーターマークNexGuardを紹介。



事業者間 (BtoB)のコンテンツ受渡しから、PayTV サービス向けのBtoC (STB/ストリーミングサーバサイドの透かし挿入)まで用途に応じてソリューションを用意。

ビジュアルグラフィックス

NAB や IBC で数多くの賞を受賞した EditShare のスケラブルストレージサーバ「XStream EFS」で、3node を用いたデモンストラレーション環境を披露。また、メディアファイルの整合性をチェックするための低コスト QC ソフトウェア「QUALES」を展示した。

「QUALES」の特徴はワンパス・アナライズ。1つのファイルを1回のスキャンニングで、後からパラメータを自由に変更しても、即座に解析結果が現れる。通常はパラメータや機能を新しく追加した場合、改めて解析が必要。1回のスキャンニングですべてのデータが取り込まれるため、どんなパラメータ変更にも後から追跡できる。国内では、ビジュアル・グラフィックスがライセンス販売、ターンキーの販売をしている。また、ブースに設営したシアターでは、EditShare の中京テレビへの導入事例について、中京テレビからゲストを招いて紹介した。

■ InterBee2017 VGI Special Theater

Presentation : 各種プロダクト紹介やユーザプレゼン、メーカープレゼンをミニシアター

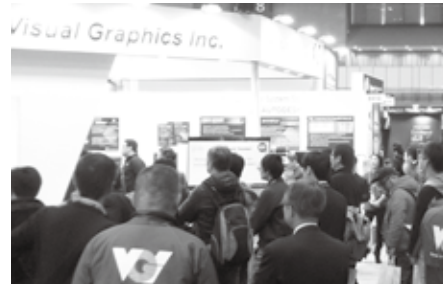
ブースにて日替講演。

■ CG / VFX System Solution

・Autodesk Flame : Over 4K / HDR、VR 等の最新描写に欠かせない多数のインタラクティブツールを搭載するFlameの最新情報と8K出力対応モデルを参考展示。

・SYMPPLY SYMPPLYULTRA (参考出品) : 非圧縮ベースのCG / VFXの制作環境に最適な選択肢となるSYMPPLY社の新世代のSANストレージ「SYMPPLYULTRA」を参考出展。僅か2Uの筐体にビルトインされたMDC および8port 16Gbps FC SW によって圧倒的省スペースを実現、StorNext ライセンスのパンドル、Web ベース管理ツールをオールインワンで提供し、低コストでSANに必要な総てを揃えることが可能。

・VGI WIREDSERVER 2nd (仮) : VGIのオリジナルソリューション" WIREDSERVER "の次世代コンセプトを参考展示。1st モデルユーザからの多彩なリクエストに応える、進化するニアラインサーバーのロードマップを紹介。



■ Editing System Solution - By EditShare -

・EditShare XStream EFS : 従来のシングルサーバー運用は勿論のこと、複数ノードによるスケールアウト・クラスター型ストレージ・サーバーへと大きく革新した。

・EditShare QUALES QC : メディアファイルの整合性をチェックするための包括的な機能を搭載した映像・音声品質チェック自動化システム

■ そのほか、「Adobe CC System Solution」、VGI で開発中のクラウドWeb アプリケーション「MNM」、AVID 社の新たな製品カテゴリー「Studio Suite」製品などを各々各社のブースにて紹介した。

フォトロン

フォトロンブースでは、《収録からアーカイブまで》をテーマに、4K HDR / 8K / IP に対応した《国内初出展製品》を含む最新の映像システムを出展。ステージでのプレゼンテーションでも各製品を紹介。リアルタイムグラフィックス、スポーツ/スタジオ、インジェスト、編集、フィニッシング、テロップ、ストレージ、プレイアウト、アーカイブ、ファイル転送などの幅広い製品ラインアップで、ユーザーの業務にあわせた最適なワークフローを提案した。

【出展製品】

<インジェスト>

●ROHDE & SCHWARZ : マルチチャンネルビデオサーバ最新モデル「VENICE-S」(国内初、4K、IP) / インジェスト・プレイアウトサーバ「VENICE4K」(4K HDR、IP) / 高速ストレージソリューション「Spycerbox Cell」(4K HDR) / マルチプロトコル対応マルチビューワーソリューション「PRISMON」(参考出展、国内初、4K)

<ファイル変換>

●Telestream : ハイエンド・トランスコード・ワークフロー(4K、IP)「Vantage Transcode Pro Lightspeed Server K80/Lightspeed Live Capture」

<編集>

●Avid : パーチャル環境編集システム「Media Composer | VMオプション」(NEW、4K) / 4K ノンニア編集システム「Media Composer

/ Artist | DN x IQ」(4K HDR) / 4Kリアルタイムストレージ「Avid NEXIS | E4」(4K) / プロダクションアセットマネジメント「MediaCentral | Production Management」(4K)

●Photron : ニーズに応じて進化する国産・自社開発テロップシステム「TFX-Artist」(4K、8K) / Adobe Premiere 連携プラグイン「TFX-Plugin for Adobe Premiere」(4K、8K)

●ProMAX : 4K・HD 編集用高性能・高機能・高コストパフォーマンス共有サーバ「Platform Family」(4K)

<フィニッシング>

●Blackmagic Design : 最先端のオンセット・オンライン編集・カラーコレクション・フィニッシングツール「DaVinci Resolve14」(4K HDR、8K)

●GrayMeta : プロフェッショナルメディアプレイヤー・コラボレーションツール「GrayMeta Iris QC Pro」(国内初、4K)

<アーカイブ>

●DataDirect Networks : 4K / 8K 対応ストレージソリューション「GRIDScaler」(NEW、4K、8K)

●Photron : メディア・アセット・マネジメントソリューション「Photron-miniMAM」(4K、8K) / ファイルベースワークフロー支援プラットフォーム「HARBOR」(4K、8K)

<NEW プロダクト>

●Photron: 映像制作/編集アプリ「Photron-Mobile Video Creator」(NEW)

●Jaunt : プロ向け高精細VR 映像撮影用360°カメラ「Jaunt ONE 24G Camera」(NEW)

●Trackmen : カメラトラッキングシステム「VioTrack F」(参考出展、国内初)

<リアルタイムグラフィックス>

●Vizrt : ポータブルバーチャルシステム「Viz Engine(LaptopPC + Io4K)」(NEW) / リアルタイムグラフィックス「Viz Engine/Viz Artist 3.9」(4K、IP) / ライブ中継向けスポーツグラフィックス「Viz Arena」/ ハイライト・解説向けスポーツグラフィックス「Viz Libero」

<スポーツ/スタジオ/ニューテクノロジー>

●EVS

◇スポーツ : スポーツプロダクション世界標準4K・HD ビデオサーバ「XT4K」(4K HDR、IP) / ファイルベースアーカイブステーション「XFile3」(4K) / ライブグラフィックエフェクト「Epsio Paint 4K」(4K)

◇スタジオ収録・送出 : スタジオ収録・送出用ビデオサーバ「XS4K」(4K HDR、IP) / スタジオ収録用ツール「STING」(4K)

◇ニューテクノロジー : IT ベーススイッチャー「DYVI」(4K、8K、IP) / ワンマンプロダクション「X-ONE」(国内初、IP) / IP ワークフローオーケストレーション「S-CORE MASTER」(国内初、IP) / 360°ライブモーションリプレイ(参考出展、国内初) / AI スポーツ制作ツール(参考出展、国内初)

ビデオサービス



撮影機材のレンタルを行っている同社ブースは、例年同様のカウンター上の洒落た雰囲気のあるブースにて、本年は「ARRI ALEXA」をさりげなくカウンターテーブル脇に配して演出。ARRI ALEXA は世界中のユーザーから寄せられた要求と、90年以上に渡るアリの歴史によって培われたノウハウをもとに開発された、スーパー35mm フォーマットのフィルムスタイルのデジタルシネマカメラ。画質、操作性、厳しい環境下でも使用に耐え得る信頼性、コストパフォーマンスに優れ、加えて多彩なワークフローにも対応することで、映画、コマーシャル、PV、テレビなどジャンルを問わずオールラウンドに活躍している製品である。

スネル・アドバンスト・メディア

クォンテルからスネル・アドバンスト・メディア (SAM) に社名変更して以来、3 回目の出展となった同社ブースでは、ポストプロダクション製品として「Quantel Rio 8K」、ライブプロダクション製品として「LiveTouch」システムを展示・デモンストレーションを行った。Quantel Rio は、高性能のオンライン編集・カラー& フィニッシングシステムで、Quantel Rio 8K はその最上位モデル。InterBEE への出展は、2014 年の開発モデルを初めとして今年で4回目となる。8K モデルは、国内ではすでに5台導入されており、2K や 4K モデルを含むRio シリーズ全体では累計 50 セット以上が稼働中。大きな特徴は、フィニッシング、すなわち最終

の仕上げ工程を、編集も含め一手に引き受けることが可能な点にある。また、解像度の異なるクリップを同一のタイムラインへ編集することが可能で、出力の解像度も別に指定することが可能である。8K モデルも例外でなく、8K の編集に4K 素材が混在するような場合でも柔軟に対応できる。ブースではこうしたワークフローの利点と、今年の機能アップデートについて紹介した。LiveTouch は、スポーツ中継でのリプレーやハイライト制作作用のシステムで、UHD に対応している。タッチパネルは習得しやすく使いやすい設計で、マークしたクリップを使ってハイライトを作成するために、編集ツールが統合されている。サーバー内のクリップを複製する



必要がないため、すばやいハイライト制作が行えるのが特徴。ブースでは、UHD@60p のコンテンツのリプレーや、ショットをつないだハイライトの制作ワークフローを紹介した。そのほか、IP モジュール、スイッチャー、4K コンバーター、ファイルベースフレームレートコンバーター等をパートナーのブースで展示した。

ローランド

「映像制作/ 放送関連機材部門」に出展。映像・音響メーカーとして映像・音響のソリューションを展示した。

《映像》

HD ビデオ・スイッチャー「V-60HD」、マルチフォーマット・マトリックス・ミキサー「XS-62S」のほか、マルチフォーマット・ビデオスイッチャー「V-800HD MK II」、マトリックス・スイッチャー「XS-1HD」などを出展。

HD ビデオ・スイッチャー「V-60HD」は、ライブ・プロダクションの映像と音声を一台で対応可能なSDI/HDMI 両対応6ch ビデオ・スイッチャー。マルチビュー出力、音量調整を自動化可能なオートミキシング機能、無線LAN アクセスポイントを使用し、iOS/Android デバイスにタリー表示するローランド独自スマート・タリー・システム、6 チャンネル・アナログ入力音声をSDI 映像にエンベデッド可能な製品である。

一方マルチフォーマット・マトリックス・ミキサー「XS-62S」は、1U サイズに映像&音声ミキシングパワーを凝縮、PTZ カメラ操作可能なオールインワン・ソリューションを提供する。

○ 2M/E スwitchャーとプロセッサー、オーディオ機能も搭載したビデオ・スイッチャー「V-1200HD」

○ SSD 4 スロット仕様。タイムコード対応フルHD 非圧縮映像をクイックレスポンス再生可能な「PR-810HD」

○ HDMI/RGB 対応8 入力、スケーラーやプロセッサー、オーディオ・ミキサー搭載のオールインワン、マトリクスAV スwitchャー「XS-80H シリーズ」

○ どこにでも持ち運べる小さなボディー映像を自由に操るコンパクト3G-SDI ビデオ・スイッチャー「V-1SDI」、HD ビデオ・スイッチャー「V-1HD」

○ 3G-SDI Level A&B 対応のロスレス変換のミニ・コンバータ「VC-1 シリーズ」

《音響》

音響装置としては、池上通信機ブースと光ケーブル接続をおこない、リモート・プロダクション・システムを紹介。そして、ヤマキ電気株式会社の初出展のメーター・アプリケーションとのコラボレーション展示を実施した。



そのほか出展製品

○ 128ch 内部入出力構成を自由にアサイン可能な、96kHz 対応のデジタル・ミキサー O・H・R・C・A「M-5000/5000C」

○ プレーヤー自身がモニター・ミックスのバランスを自在にコントロールできるキュー・ボックス「M-48」

○ コンパクトボディのV-Mixer「M-300/200i」

○ 充実したデジタル音声伝送「REAC 機器」製品群

○ 24bit /192kHz 対応のフィールド・レコーダ「R-88/44」

○ 24bit/192kHz 対応のUSB オーディオ・インターフェース「Rubix44/Rubix42/Rubix22」

オムニバス・ジャパン

Inter BEE CREATIVE 内のオープンステージでは、クリエイティブセッションにて、“劇場公開映画「亜人」JVFx メイキング”の内容にて、宗片純二氏と若杉亮氏による講演を開いた。また、ホール 8 のブースではオリジナルコンテンツ「A DAY」や「OMNIBUS JAPAN VFX DEMOREEL」を球体スクリーンなどに展示し、イベントやサインージ、ロビー展示などの常設展示場への制作、技術力を紹介した。



ブロードデザイン

VRi 社 (Visual Research Inc) と共同ブースにて、『リニアからノンリニア、HD から 4K へ』をテーマに、現在の課題と未来へ向けた製品・システムを出展。

「KarismaCG」と「D-Stream DX」を連携した「VRi ハイブリッド編集システム」を出展した。ノンリニア編集の課題であったリアルタイムでのテロップ作成/編集が可能となるリニア編集での作業フローに合わせた新しいハイブリッド編集システム。4K HDR 対応の「KarismaCG 4K」、4K 対応の野球コーダーと合わせて展示。同じく 4K HDR 対応の 4K ディスクレコーダー「D-Stream 4K」を参考出展した。

「D-Stream 4K」は、4K の録画機/再生機・インジェスト用途として使用可能。マルチフォーマットディスクレコーダー「D-Stream」も編集機と

繋げ実演デモを行った。その他、リアルタイム 2D キャラクタージェネレーター「VisualCG」(旧製品名 SmartCG) も展示。

同社オリジナル製品では、ファイルメディアプレビューソフト「FP-300」、パーシャルリトリブソフト「PR-30」、HDMI コンバータを展示した。

■PR-30 パーシャルリトリブソフト
パーシャルリトリブソフト「PR-30」は、MXF ファイルの必要な部分を複数指定し同時に切り出すことができるソフトウェア。切り出し点は番組交換基準 (民放連技術規準 T031-2015) に対応しており、IN/OUT 点の設定作業を軽減できる。

新機能として CM 搬入基準に対応。プレビュー画面のスクロールバーによる IN/OUT 点の設定機能を追加した。



■FP-300 ファイルメディアプレビューソフト
ファイルメディアプレビューソフト「FP-300」は、XDCAM、Prores、DNxHD(OP1a) 等様々なコーデックを再生でき、HD-SDI / HDMI モニターでプレビュー可能。付加機能として、静止画 (TIFF アルファチャンネル付き) を映像と MIX できる。

お手持ちの PC で、クオリティの高いプレビュー作業が行える。

■HDMI 関連製品 (当社取り扱い製品)
HDMI スイッチャー、分配器、延長器、その他。

DPSJ(日本デジタル・プロセッシング・システムズ)

ストリーミングとファイルベースの大きく 2 つのソリューションを、ビデオ産業 (制作から配信まで) をカバーする最適なソリューションを提案・提供。最新の機械学習 (AI) をベースに、配信される動画をより魅力的に演出し、ビジネスを成功に導く「Videogram」を初披露した。

■Videogram (New) : Videogram (ビデオグラム) は、機械学習 (マシンラーニング) と深層学習 (ディープラーニング) によって、ビデオ内部をインデックス化および分析することで、革新的なオンラインビデオ環境を提供するコンテンツディスカバリー・プラットフォーム。既存の配信プラットフォームヘシームレスに組み込むことができ、複雑な操作や労力を必要とせずに動画サイトを魅力的に変える。

AI 技術によって、動画配信に使用される個々のサムネイルを自動生成させることができ、しかも動画内部の興味を持ってもらいそうな箇所を抽出してタイル状に表示する。気になる画像をクリックすると、その場面から再生が始まり、AI 分析

でその場面の人気度が蓄積されることで常に最適化が行われるようになる。

■Metus MAM (メタスマム) : 様々なファイルフォーマット、ストレージ、編集ソフトウェアに対応する、ファイルベース映像・音声コンテンツのメディアアセットマネジメント (メディア資産管理) ソリューション。

■Metus INGEST (メタインジェスト) : 最高水準のデザインを備え、10 年以上のソフトウェア・ベースのマルチメディア・エンコーディングに対する経験から、改良を続けている。プロフェッショナルのインジェストには、品質と性能に妥協しないのはもちろんのこと、業界を問わず様々な目的に対応可能で、しかも使いやすくデザインされたキャプチャ・ストリーミング・トランスコードのソフトウェアが求められる。Metus INGEST は、言い換えれば “マルチメディアの万能ナイフ”。学校から一般企業、放送局、軍に至るまで、既に世界中で 100 以上のユーザーに利用されている。

■Wowza Streaming Engine (ワウザ・ストリー



ミング・エンジン) : プロフェッショナルレベルのストリーミングを構築し、配信するためのカスタマイズが可能な、業界標準と言えるメディアサーバーソフトウェア。

■THEOplayer (ジオ・プレイヤー) : Web の標準 HTML5 に準拠し、動画コンテンツの Web 配信に欠くことのできない HLS 動画再生コンポーネントツール。

■その他出展製品一覧
ファイルベース QC 「Vidchecker」
ビデオキャプチャソリューション 「Magewell」